

平成25年度概算要求における 科学技術関係予算

平成24年9月12日



厚生労働省

科学技術関係予算全体の動き①

● 主な課題とその課題解決に向けた主な取組

・課題1: 超高齢化社会に対応した国民が安心して利用できる最新の医療環境の整備
(医療関連市場の活性化と我が国の経済成長にも貢献)

→取組: ライフイノベーション・医療イノベーションの推進

- ・日本発の革新的医薬品・医療機器の創出 (がん、難病等の重点化)
- ・世界最先端の医療実現(再生医療、個別化医療) 等

・課題2: 東日本大震災からの復興・再生、災害からの安全性向上

→取組: 被災者の健康支援、復旧・復興の促進、大規模災害時の備え等に資する研究の推進

・課題3: イノベーションを推進するための省内連携・府省連携、システム改革

→取組: 厚生労働省医療イノベーション推進本部の設置(部局を超えた省内連携)
総合科学技術会議や内閣官房医療イノベーション推進室の下、各府省の役割分担・協働の促進

→取組: 新たな医療技術に対応したシステム改革

- ・医療機器や再生医療機製品の特性を踏まえた薬事制度の改正
- ・医療として提供される再生医療について、安全性を確保しつつ、実用化を推進するための仕組みの検討 等

科学技術施策関連の動向①

第4期科学技術 基本計画

(平成23年8月19日閣議決定)

科学技術重要施策 アクションプラン

(平成24年7月19日総合科学
技術会議科学技術イノベー
ション政策推進専門調査会)

○ 震災からの復興、再生の実現

- ・被災地における安全な生活の実現
(人々の健康不安を解消し、精神的な安定を確保)

○ ライフイノベーションの推進

- ・革新的な予防法の開発
- ・新しい早期診断法の開発
- ・安全で有効性の高い治療の実現
- ・高齢者、障害者、患者の生活の質(QOL)の向上
- ・ライフイノベーション推進のためのシステム改革

○ 復興・再生並びに災害からの安全性向上

- ・命・健康を、災害から守る
被災者に対する迅速で的確な医療の提供と健康の維持
- ・モノ、情報、エネルギー等の流れを災害時も確保し、新たに創る
農水産物、産業製品の放射性物質の迅速な計測・評価、除染及び流通の確保
- ・放射性物質による影響への取組
除染等作業を行う者の被ばく防止の取組

○ ライフイノベーション

- ・がん等の社会的に重要な疾患の予防、改善及び治癒率の向上(がん、生活習慣病、うつ病等)
- ・身体・臓器機能の代替・補完(再生医療)
- ・革新的医療技術の迅速な提供及び安全性・有効性の確保(レギュトリーサイエンス)
- ・少子高齢化社会における生活の質の向上(高齢者・障がい児・者の機能代償・自立支援技術、小児疾患の予防と予後の改善)